

## 芸術学部の学生が制作した作品「レポートキャンディ」が 第7回フェローズフィルムフェスティバル学生部門で245作品の中から 審査員特別賞を受賞 ～本学から2年連続入賞～

大阪成蹊大学（大阪市東淀川区/学長 中村 佳正）芸術学部 造形芸術学科 バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース3年生 炭井 逸暉さんの監督作品「レポートキャンディ」が全国規模の短編映画コンテスト「第7回フェローズフィルムフェスティバル学生部門」において、審査員特別賞を受賞しました。

炭井さんの作品は本コンテストを代表する3作品として、BSフジにより3週連続放映される「FFF-S 2025セクション」の第1弾に選ばれました。1月25日（土）22:55～にてテレビ初披露となります。

### 本件のポイント

- ✓ 昨年の応募数116作品から倍増の応募総数245作品から選出。最優秀賞、優秀賞、ソニーミュージック賞に次ぐ結果である。
- ✓ 第6回の同コンテストにおいても同コースの学生が入賞を果たし、大学として2年連続の快挙である。

### 【審査員】

堤 幸彦（映画監督）／清水 崇（映画監督）／  
 広山詞葉（女優・プロデューサー）／東紗友美（映画ソムリエ）／  
 伊藤伴雄（映画プロデューサー）／  
 野儀健太郎（株式会社フェローズ 代表取締役社長）

### 【作品概要】

超能力、超常現象好きの主人公が、高架下にて怪しげな露店を構える男と出会う。露店には不思議な雑貨がたくさん売っており、男は瞬間移動が使えるようになる飴、「レポートキャンディ」を主人公に勧める。主人公はその飴を食べ、瞬間移動する能力を身につけるが…

### 【フェローズフィルムフェスティバル学生部門（FFF-S）について】

本コンペティションは、株式会社フェローズが立ち上げた、4分間のショートフィルムによる学生の為の「短編映画祭」。未来の映画監督や才能あふれるクリエイターの発掘、映像文化・クリエイティブ産業への貢献を目的としている。

### 【大阪成蹊大学 芸術学部について】

大阪成蹊大学 芸術学部は、それぞれの将来の夢や目標を叶えるための8コースを擁しています。自分の興味のある分野から芸術を探求し、その成果を社会で活かしていくには、専門性のある技術の修得はもちろん、豊かな人間力を養うことも求められます。社会の中で芸術やデザインの果たす役割について考え、その可能性を拓くことのできる人材を育成しています。



▲作品ポスター



▲炭井さん（左から3番目）

< 取材申し込み・お問い合わせ先 >

大阪成蹊大学 広報統括本部 担当：河田・草野

大阪市東淀川区相川3丁目10番62号 TEL:06-6829-2606 Mail: kouhou@osaka-seikei.ac.jp